

令和5年度 指定管理者 評価報告書

No.	10	評価区分	I 文化交流施設、スポーツ施設、環境衛生施設、福祉施設
施設名	飛騨市古川町デイサービスセンター、飛騨市河合町デイサービスセンター、飛騨市宮川町デイサービスセンター、飛騨市河合町保健センター、飛騨市宮川町保健センター	所管課	地域包括ケア課
指定管理者	社会福祉法人 吉城福祉会	地域名	古川町、河合町、宮川町

1 施設の概要

施設所在地	飛騨市古川町若宮二丁目1番60号、河合町角川318番地、宮川町野首28番地3
設置目的	在宅の虚弱老人及び寝たきり老人など要支援老人に対し、各種の便宜を提供することにより老人及びその家族の福祉の向上を図る。 市民の健康保持及び福祉の増進を図り、あわせて市民の自主的健康管理の拠点施設とする。
施設の概要	古川: デイサービスセンターのみ、河合: 全館、宮川: 全館

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成25年11月	募集の方法	非公募
評価年度の属する指定期間	令和4年度 ～ 令和8年度 (5年間)		
利用料金制	有り		

3 職員の配置

配置人員	常勤	24人
	非常勤	11人

4 施設利用者の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数 (人)	13,996	12,133	11,323	8,415
前年度増減比 (%)		-13.3%	-6.7%	-25.7%

5 業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
11,787人	古川デイサービス移転準備で定員の変更、河合、宮川の冬期の利用減少もあり利用者が減少。

6 モニタリングによる意見及び苦情等の把握と対応状況

アンケート方式	手段	利用者及び家族対象アンケート調査	件数	106 件
その他の方式	手段		件数	件
利用者等からの意見と対応		要望・意見・苦情	対応	
指定管理者に対する意見	①	特になし。		
	②			
	③			
市に対する意見	①	特になし。		
	②			
	③			

7 地域との交流・連携の取り組み

取り組み	実績及び評価
保育園との交流、地域ボランティアの受け入れ	運営協議会にて地域の声を運営に反映。地域との交流は工夫して間接的に行った。ボランティアは感染対策として見合わせた。

8 指定管理者からの提案方策の実施状況

取り組み	実績及び評価
生活環境保全及び公衆衛生の向上	環境衛生検査や食品検査を行い、検査機関より指導を受け公衆衛生に対する意識の向上を図っている。

9 自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
特になし。	

10 人材育成の状況

実施内容	対象・回数など
各デイサービスでの部門研修(年6～10回)	職員のスキル向上と質の良いサービス提供をするための研修計画を立てられた。

11 収支に関する状況(経費の縮減)

(単位:千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な内容
収入	139,534	120,277	114,230	95,595	
指定管理料	962	962	907	907	
利用料金	135,428	118,208	111,752	82,777	
純売上高					
その他	3,144	1,107	1,571	11,911	
支出	133,284	126,001	131,615	110,897	
売上原価					
人件費	98,980	91,997	91,951	81,730	
光熱水道費	10,457	11,424	12,162	10,886	
設備保全費	1,960	2,101	1,953	2,173	
修繕費	443	216	245	621	
備品消耗品	3,087	2,116	8,081	2,089	
清掃費	73	63	74	87	
その他管理費	5,825	6,363	5,269	809	
運営費事務費	7,381	7,205	7,168	9,461	
その他	5,078	4,516	4,712	3,041	
指定管理業務収支	6,250	△ 5,724	△ 17,385	△ 15,302	
自主事業収支		△ 1,164	△ 3,747		
全体収支	6,250	△ 6,888	△ 21,132	△ 15,302	

※指定管理料が0円の施設の自主事業収支は、指定管理業務収支に含まれるものとする。

12 収入確保に対する取組

取り組み	実績及び評価
利用者が安心して安全に過ごせる場所として選ばれるサービスの提供	デイサービス利用者が安全に過ごすことができる場所の提供を第一に利用者数の確保に努めた。

13 経費削減に対する取組

実施内容	実績及び評価
消耗品の年間単価契約 職員への光熱水費節約の呼びかけ	年間単価契約による低廉化 利用者が不便にならない程度の節約

14 指定管理者の評価

指定管理者制度運営委員会での審査を経て決定された最終評価

大項目	評価		評価に対する内容
平等利用の確保(20)	b	(15)	河合町保健センター及び宮川町保健センターについては、特定の団体等からの利用に留まってはいるが利用希望に基づき、使用されている。 デイサービスの利用については、利用希望者全員が平等に利用できるよう調整されている。古川デイサービスの定員数の減少も利用者へ丁寧に説明対応をしながら平等利用できるよう調整されている。
施設の効用の発揮(20)	c	(10)	河合、宮川デイサービスセンターは地域密着型の通所介護施設として活用され、人口減少が著しい地域の利用者にとって、住み慣れた地域でサービスを受けることができる拠点ではある。古川デイサービスは今後の施設移転を踏まえ定員縮小したこともあるが、どのデイサービスも定員に近い利用となるような施設稼働率向上の工夫が必要である。
安定した管理能力(20)	c	(10)	いずれの施設も、建設から20年以上が経過し老朽化が進んでいる。そのため、長く利用するための保守点検等を行いながら、状況を把握し、管理をされている。 人員配置においては、研修への参加、職員の休暇取得に影響がないよう人員を確保され、勤務体制に無理がでないようにされている。介護人材不足により、新たな人材の確保が難しい中、職員の離職を防ぐため、職員のモチベーションを保つことも必要となり、人員の配置について配慮されているように見受けられる。
経費の縮減(20)	b	(15)	利用頻度の多い消耗品については、法人本部による年間単価契約を行うことにより、経費の縮減に貢献をしている。また、光熱水費については、利用者に不便がかからない範囲で節約に努めている。特に、床暖房設備については、燃料の消費が非常に多くなることを把握され、必要に応じた運転をすることにより燃料費の縮減に繋がった。古川デイサービスの定員数の減少もある中、指定管理業務収支としての赤字額は一昨年よりも2,000千円減少となった。
自主事業等及び各課で定める項目等(20)	b	(15)	中重度の利用者を積極的に受け入れ、要望に合わせて個別のニーズに対応された。コロナ5類移行後も感染症の影響がある中、工夫をしながら利用者が楽しく過ごし季節を感じられるようなレクリエーションの計画実施や直接の交流はできなかったが利用者が作成した飾り等を地域の保育園で展示また、小学生が作成した地域に関する学びの資料等を利用者が見れるように施設へ展示するなど間接的ではあるが地域特性を活かしたサービスの展開をされている。宮川デイサービスにおいては、防火管理制度の対象外施設であるが、自主的に訓練を実施し、有事の際に備えている。
総合評価	C+	(65)	指定管理料は保健センターに係る管理経費のみであり、古川デイサービスの黒字と河合・宮川デイサービスの赤字をデイサービス管理全体として採算が合うと見込んでいたが、短期入所によるキャンセルやコロナ禍による利用者減少及び古川デイサービス移転準備で定員の変更(減少)により、収入減少となり赤字の決算となった。今後、地域密着型通所介護施設としたことにより運営協議会での地域の声も拾えることから地域の方に親しまれ、サービスの稼働率も向上することに期待する。